地域の教育資源を活用した、持続可能な社会の創り手を育む

ネイパル足寄

とかち冬の森探検隊

1　事業のねらい

森林での調査や体験活動を通して、ゼロカーボン実現に向けた取組について深く考え、自然環境に対する興味・関心を高めるとともに、持続可能な社会の創り手を育む。

2　事業の概要

■期日　R７.２.22(土)～23(日)
■対象　小学校４年生から６年生の児童 40 名
■人数　39 名
■場所　ネイパル足寄
■協力　合同会社 tetote（足寄町）
　　木育マイスター　菅原　耕　氏

3　プログラム

	6	7	8	9	10	11	12	13	14		15	16	17	18	19	20	21	22
1日目	※昼食を済ませてからお越しください。						12:30 受付開始	受付	開会式	仲よくなろう	活動説明	フィールドワーク	バードコールづくり	バードコールを鳴らしてみよう	ベッドメイク	入室	ペレットピザ窯で夕食づくり	入浴 就寝準備	就寝
2日目	起床	身支度	ラジオ体操	朝食	部屋清掃 荷物移動	ネイチャービンゴ	自然を使ったエコクッキング	ふりかえり	閉会式	12:00 閉会式終了								

4　ねらいを達成するための活動の工夫

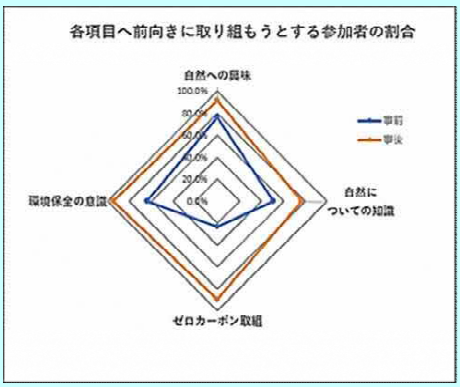
■町内在住の木育マイスターを講師に迎えた森林教育プログラム
　周辺の森林探索や地産の木材を活用したバードコールづくり体験では足寄町の木育マイスターを講師として迎え、参加者に十勝の森林環境のおもしろさ、特異さ、課題など様々な自然環境に関する話をしてもらうことで、参加者の興味・関心を高められるよう工夫した。
■ゼロカーボン実現へ向けた課題を自分事として考えられるプログラム
　事業内ではゼロカーボンをキーワードとして扱い、ゼロカーボンの概念及びそれに関わる課題や達成への手立てについて、先述の木工体験や環境に配慮したペレットを使用した調理体験など多様な体験活動を通して学び、参加者の生活とキーワードを結び付けて考えられるよう工夫した。

スノーシューを着用し自由に散策

森にある様々な種類の木の枝を収集する

5　事業の評価

■アンケートから
　事業の評価には事前と事後で、同じ項目の調査用紙を用い参加者の変容を調査した。
　調査からは今回の参加者は事業前から自然への興味が高い傾向にあるが、ゼロカーボン推進や環境保全に取り組んでいるという意識は高くない。
　事後の調査からは全ての調査項目で意識が高まっており、特にゼロカーボン推進と環境保全に取り組もうとする参加者の増加が顕著である。



6　ねらいを踏まえた成果と課題

●ゼロカーボン実現に向けて、子どもたちが環境問題を自分事としてとらえられるよう、ゼロカーボン推進の概要や必要性、具体的な取組例などを挙げてゼロカーボン推進への理解を促した。また、このことに関連する体験活動を取り入れたことで、ねらいに対して効果的なプログラムであったと考える。
○冬の屋外活動では、防寒着の脱着に時間がかかる。そのため、１つ１つの活動で充分に子どもたちの学ぶ時間を確保するには、プログラム全体に余裕をもたせる必要がある。

企画のポイント
地域の関係団体と連携し、専門的かつ実践しやすいアドバイスを取り入れたプログラムづくり